

逢瀬公園へ遠足

1～4年生は、13日に逢瀬公園へ遠足に行ってきました。

徒歩で逢瀬公園の事務所まで行き、荷物を預けると、最初はサボテン園の見学です。サボテンには、春先に話題になったアガベ、金鯪、柱サボテン、ウチワサボテンなどいろいろな種類があること、サボテンはほとんど水分でできていること、サボテンは種から増えることなどたくさんのことを教えてもらいました。一番古いサボテンは約200歳ということも教えてもらいました。

その後、オリエンテーリングをしました。白い雲、黄色のちょう、赤い実、白い花、松ぼっくり、ススキ、赤い花、真っ赤なトンボ、白い蝶、顔より大きな葉っぱなど25個のものを逢瀬公園で見つけてくるというものでした。子どもたちは協力しあって探していました。

時間までに、すべての班が戻ってくることができました。集計してみると、なんとすべての班が満点でした。どの班も頑張っているいろいろなものを見つけることができました。

いよいよ楽しみにしていた昼食タイムです。班ごとに丸くなって美味しいお弁当を食べました。

昼食タイムの後は、わんぱく広場での遊びタイムでした。子どもたちは遊具を使って楽しい時間を過ごしていました。市内の保育園も来園していましたが、さすが小学生で、保育園の子供たちにやさしく接し、帰るときには寂しがられていました。とてもいい遠足となりました。



コミュニティ福島と大安場史跡公園へ



5・6年生は、放射線教育も含めた理科と社会の校外学習へ出かけました。

はじめに訪れたのは「コミュニティ福島」。いくつかのコーナーがあり、東日本大震災の映像を見るコーナー、福島県の環境について学ぶコーナー、再生可能エネルギーについて学ぶコーナー、放射線について学ぶコーナーでした。放射線について学ぶコーナーでは、食塩、減塩塩、肥料、温泉の湯の花、花崗岩といった身近なものの放射線量を測り、身近なものからも放射線が出ていることを学びました。とても勉強になったコミュニティ見学でした。



コミュニティ福島を見学した後は、大安場史跡公園の見学でした。映像室で大安場古墳についての動画を見た後、展示室の見学をしました。中には触ってよい土器もあり、実際に触れることができました。その後、古代人の衣装を着る体験もでき、充実した学習となりました。

ヘルメットの確実な着用を

先日、会津地方の小学生が自転車で転倒し、脳挫傷となる事故が起きました。その子はヘルメットをかぶっていたものの、あごひもをしていなかったため、転倒時にヘルメットが外れ、頭部を直接ぶつけてしまったようです。自転車に乗るときはヘルメットのあごひもを確実につけて運転するようにしましょう。



要望書を提出してきます

9月7日の授業参観の際に保護者の皆さんに説明しました「統合についての要望書」ですが、6・7・8区の皆さんからの了解を得ました。そこで、明日、河内小学校の今後を考える会の会長、副会長さんとともに市教育委員会へと提出して頂くこととなりましたので、ご報告いたします。